

凍結保存のインストラクション

凍結保存によって、細胞の質と機能が損なわれる場合があります。凍結保存後の細胞の性能は保証できません。これらの手順は肝細胞、bMVEC-B、メラノサイト、マウスおよびラット神経細胞、ラット心臓細胞、およびPoietics™細胞には適用されません。

手順

1. 細胞培養用定格の0.2ミクロンフィルターを使用し、凍結培地にフィルターをかけて滅菌します。
2. 細胞を回収して遠心分離機で沈降させます。
3. 低温の凍結保存液中で、約500,000~2,000,000細胞/mlの密度で細胞を再懸濁します。作業はすばやく行います。一旦DMSOに曝されると細胞は非常に痛みやすくなります。
4. ピペット分取量（各 1 ml）を凍結保存バイアルまたはアンプルに入れ、密封します。
5. Styrofoam®またはプロパノール凍結保存キャニスターでそのピペットを絶縁します。
6. 細胞を-70℃で一晩保存します。
7. 12~24時間以内に長期保存用の液体窒素（-200℃）内に入れます。-70℃で長期保存を行うと細胞の品質が損なわれます。

凍結保存溶液

■ 間葉系幹細胞用

- 70% MSCBM
- 10% DMSO
- 20% ヒト血清アルブミン (25% 溶液)

■ 骨格筋細胞用

- 70% SkGM™
- 20% FBS
- 10% DMSO

■ その他の全ての細胞型

- 80% Clonetics™ 最適な増殖培地
- 10% FBS
- 10% DMSO